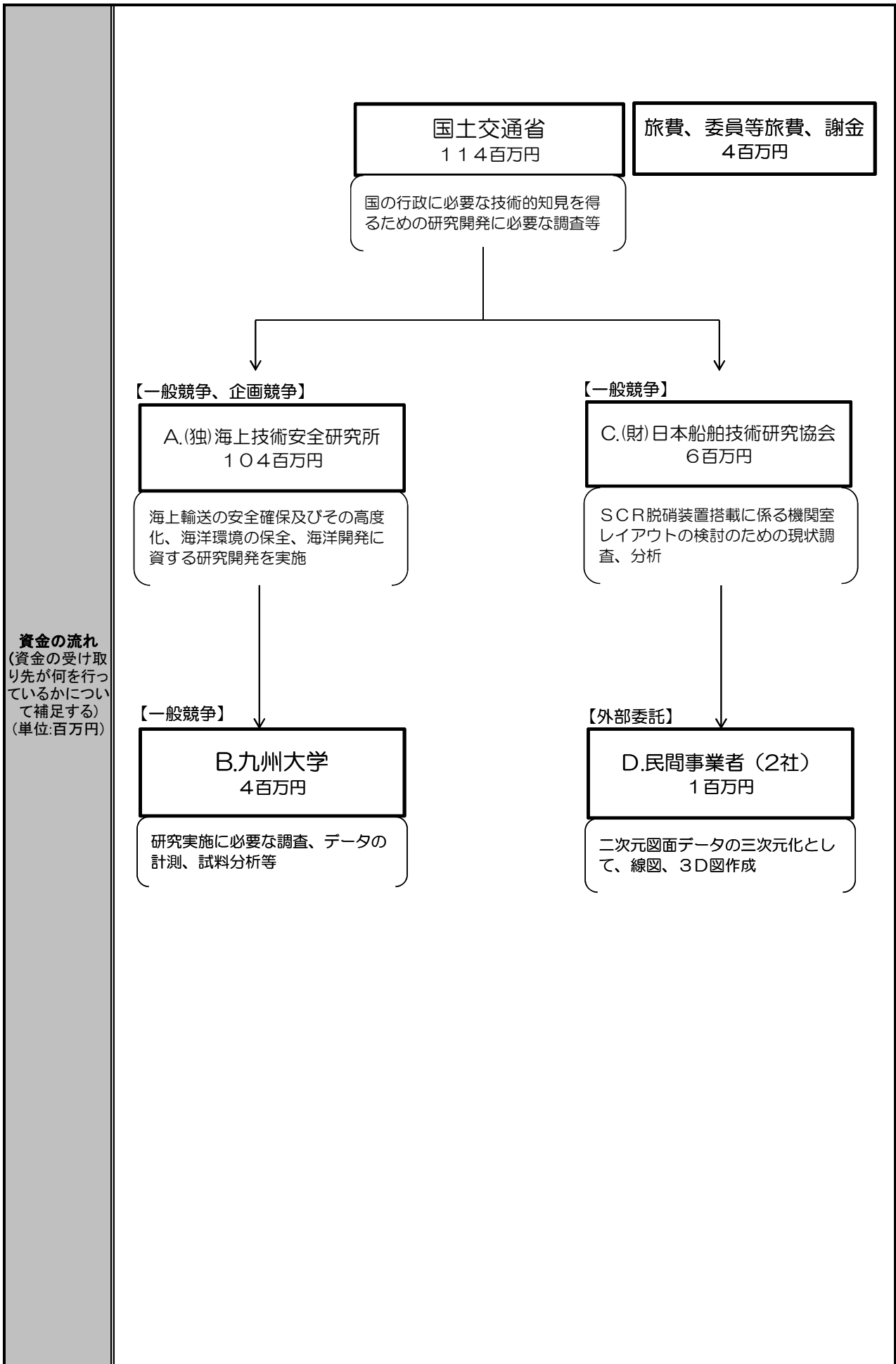


行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	海上輸送の環境性能向上のための総合対策		事業開始年度	平成21年度		作成責任者
担当部局庁	海事局		担当課室	安全・環境政策課 総務課 船舶産業課		課長 坂下 広朗 技術企画官 吉田 稔 課長 今出 秀則
会計区分	一般会計		上位政策	地球温暖化防止等の環境の保全を行う		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	国土交通省成長戦略海事分科会報告		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	地球温暖化防止への取組が喫緊の課題となっている中、運航コストの低い船舶の選択・開発技術の差別化を可能とする実際の運航状態での船の燃費を設計段階で評価できる指標の開発(環境性能の視覚化)と国際標準化等を総合的に実施し、船舶からのCO ₂ 排出削減の基盤を整備する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	従来統一的な手法がなかった実海域を航行する船舶の燃費を評価できる手法を開発し、これを基に、実際の海象・運航状態における船舶の燃費(CO ₂ 排出量)を示す指標を開発するとともに、指標の信頼性、公正性を担保するための認証システムを構築する。併せて、燃費性能の維持・向上を図りつつ、NO _x を劇的に削減する船用エンジンの開発等を一体で推進する。					
実施状況	海の10モードプロジェクトに係る研究開発及び船用エンジンの研究開発並びに国際海運からの温室効果ガス排出量等の将来予測に関する調査研究などを実施 【21年度実施した研究開発】 ・委託調査研究 2件 ・請負調査研究 3件					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	119	89	
	執行額	-	-	114		
	執行率	-	-	95.8%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	当該事業の外部支出(委託費)については、監督職員を指名して委託先の研究開発の実施状況や予算執行計画について把握及び指導を行うとともに、再委託を行う際には、委託契約書に基づき、国が事前承認を行うこととしている。また、事業完了後には、完了報告書の提出させることにより、適切な事業の実施及び経費内訳等の確認を行っている。このように支出先や用途の状況を十分に把握できる体制を整えており、適正に予算が執行されていることを確認している。				
	見直しの 余地	外部支出(委託費)については、企画提案を募集する際の提案要領について汎用性を高めることにより、多様な提案から最も効果的な研究開発方法を選択すると共に、仕様書の作成時には、研究開発の目的を適確に達成するための無駄のない実施方法について検討を行い、同じ予算で、さらに大きな成果を引き出すように努める。 また、旅費、謝金等については、支出目的及び内容等について再確認を行い、さらに適正かつ効果的な執行を実施することとする。				
予 算 監 視 の 効 率 化						
補 記	【予算科目】					
	018 地球温暖化防止等対策費					
	13 地球温暖化防止対策の技術開発に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額)					
	13054 - 2129 - 06 技術研究開発謝金 2 百万円 0 百万円					
	13054 - 2122 - 08 技術研究開発調査旅費 0 百万円 0 百万円					
	13054 - 2122 - 08 技術研究開発委員等旅費 1 百万円 0 百万円					
	13054 - 2122 - 08 技術研究開発調査外国旅費 4 百万円 4 百万円					
13054 - 2123 - 09 技術研究開発調査費 13 百万円 12 百万円						
13054 - 2125 - 14 技術研究開発委託費 99 百万円 98 百万円						



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)

国土交通省
 114百万円

旅費、委員等旅費、謝金
 4百万円

国の行政に必要な技術的知見を得るための研究開発に必要な調査等

【一般競争、企画競争】
 A.(独)海上技術安全研究所
 104百万円

海上輸送の安全確保及びその高度化、海洋環境の保全、海洋開発に資する研究開発を実施

【一般競争】
 C.(財)日本船舶技術研究協会
 6百万円

SCR脱硝装置搭載に係る機関室レイアウトの検討のための現状調査、分析

【一般競争】
 B.九州大学
 4百万円

研究実施に必要な調査、データの計測、試料分析等

【外部委託】
 D.民間事業者(2社)
 1百万円

二次元図面データの三次元化として、線図、3D図作成

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. (独) 海上技術安全研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	物品購入等	93			
人件費	研究補助者	7			
調査委託等	研究実施に必要な調査、データの計測、試料分析等	4			
計		104	計		0
B. 九州大学			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	専門研究員給与	2			
消耗品	消耗品購入	1			
その他	一般管理費	1			
計		4	計		0
C. (財) 日本船舶技術研究協会			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究補助者	4			
外部委託	二次元図面のデータの三次元化	1			
その他	一般管理費	1			
計		6	計		0
D. (株) 共栄エンジニアリング			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	データ作成者人件費	1			
その他	ソフトウェア購入	0			
計		1	計		0

【別紙】

D.民間企業（2社） 1百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	(株)共栄エンジニアリング	1
2	流体テクノ(有)	0
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		